

## 平成27年度学校関係者評価シート(中間評価)

平成27年9月

学校名 三次市立吉舎中学校

評価項目	評価	理 由・意 見
目標、指標、計画等の設定の適切さ	3.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ポイントを絞った目標、指標、計画であり、達成状況の把握も明確にできる。</li> <li>○学校教育目標達成に向けて、焦点化して短期経営目標を設定し、具体的な取組・方策を設定してある。</li> <li>○それぞれの指標が吉舎中にとってふさわしい値なのか判断できない。</li> </ul>
計画の進捗状況の評価の適切さ	3.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○評価数値を厳格に受け止め評価を行っている。</li> <li>○計画に従って取組を進めている。評価も適切に行われている。</li> </ul>
目標達成に向けた取組の適切さ	3.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○取組に関しては、抽象的な表現が多くもう少し具体性を持った取組（例えば「ノート指導の徹底」→「週1回のノート指導の徹底」）の表現の方がわかりやすい。</li> <li>○目標達成に向けた取組が進められている。自己肯定感の育成に向けて、指導者が、授業や日々の生活の中で生徒が自己肯定感を得られるような評価（言葉かけ）が行われていくと、自己評価も変わってくると思う。</li> <li>○今後も目標達成に向けて一層努めてください。つまづいている生徒に対して、きめ細かな指導体制を強化してほしい。</li> </ul>
評価結果の分析の適切さ	3.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ノート評価のバラツキの原因の分析も含め、なぜなのかを明らかにする必要があると思う。評価者の評価が、標準化しているのか否か疑問なものもある。</li> <li>○指標に従って分析が進められている。課題を克服する視点でアンケートの分析を工夫すると今後の取組に生かせると思います。</li> </ul>
今後の改善方策の適切さ	3.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○取組と同様、改善方策ももう少し具体性があるといいと思う。</li> <li>○課題が明確にされており、改善策を学校全体で取組を進めることで、果然方策の適切さを示していければいいと思います。</li> <li>○生徒一人一人が中学校生活を生き生きと過ごすために生徒・保護者・教職員が一つの目標に向かって努力し、全員が自信を持って高校へ進学できるよう指導をしてほしい。</li> </ul>
総合評価	3.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新しい取組も含め、学校に活力を感じる一方、基盤となる授業づくりに関しては、「学びの変革」で方向が示されている生徒の主体的な学習活動を促す教師が無駄にしゃべらない授業の形成をもっと進めるべきだと考える。</li> <li>○学校評価を適切に行い、学校教育目標達成に向けて、適切に取り組んでいる。自己肯定感を育成する授業改善、生徒指導を実践して下さることを期待する。</li> <li>○評価指標と比較した場合、評価が低い取組もあるが前回の調査と比較した場合に向上している取組もあるのではないかと思います。そのあたりの変化も見たい。</li> </ul>

評価      4 適切である      3 おおむね適切である      2 あまり適切でない      1 適切でない